

安心な子育てのために

小児医療費助成の拡充を

公明党 横山 むらさき

一 小児医療費助成について

問 経済状況が深刻な中、安心して子育てできる環境を整えることは、市政の重要な課題である。小児医療費助成は直接的支援だけでなく、心理的支援にもなり、若い世代から拡充の要望が多いが、周辺自治体より遅れている本市の助成拡充への考えはどのようなか。

答 小児医療費助成は、子育て支援策の中でも大きな柱の一つである。子育て支援策全体の中で総合的に検討していきたい。

二 暮らしの安心・防災対策について

問 東海地震発生時の切迫感がある中、①震災時に災害弱者を支援する災害時要援護者名簿の登録推進

教育基本法の方針に沿った

教科書採択を

市政会 小菅 基司

一 教科用図書の採択について

問 教科用図書採択検討委員会および調査委員会の委員は、教育基本法にある教育の目的や目標、採択方針について、どのような理解をしているのか。また、検討委員会の報告書は教科書を序列化しているように感じるがどうか。

答 資料などで詳しく説明している。また、望ましい教科書を報告するのではなく、それぞれの特性についてまとめている。

要望 記述内容や教育目標との関係などを報告するよう、検討委員、調査員にしっかり指導してほしい。

問 採択検討委員会に教育委員が参加することで、教育委員会が形骸化する恐れはないか。

答 検討委員となった教育委員が、会議の内容を教育委員会に報告することは必要であると教育委員の共通認識が図られている。



安全運転の啓発を

子どもの健やかな育ちのために

中学校給食の実施を

日本共産党 村上 政美

一 学校給食について

問 学校給食法は、児童・生徒の心身の健全な発達、学校給食の普及充実、食育の推進を定めている。子どもの貧困が問題になっている今、健やかな発達を保障するためにも中学校給食を実施すべきと考えられているが、また、小学校で週3回実施されている米飯給食の回数を増やすべきと考えるがどうか。

答 弁当持参が本市の基本的な考え方だが、今後の給食の動向や各市の状況を情報収集していきたい。

二 市民の健康を守り医療費の抑制を

問 糖尿病は重症化すると透析が必要になり、患者自身の生活の質の低下を招くとともに経済的負担も増加する。先進市では重症化予



中学校も給食に

里山コリドーで

新たな地域活性化の取り組みを

緑水クラブ 込山 弘行

一 自然環境の保全について

問 施政方針や新総合計画で取り上げている里山コリドー計画とは具体的にどのような事業か。また、これに伴う効果はどのようなか。

答 新総合計画を検討する中で生まれた本市独自のものであり、市内の里山を林道や農道、あぜ道などで結び付け、里山を核として人々の交流や市民活動、地域物産を結び付けることで、地域資源を掘り起こし地域の活性化を図りたい。



森林や里山に人々の流れを

障がい者の就労支援を充実させ

雇用の拡大を

緑水クラブ 横溝 泰世

一 障害者自立支援法について

問 国は、障害者自立支援法を廃止し、平成25年8月までに(仮称)障害者総合福祉法を制定しようとしている。それまでの緊急措置として障害者自立支援法を改正した主な内容はどのようなか。

答 負担能力に応じた利用者負担の見直しや発達障がい者をサービ

南関東地震の被害想定

避難者数10万6000人

民政会 阿蘇 佳一

一 3・11(東日本大震災)の教訓について

問 ①30年以内に起こる可能性が87%と言われている東海地震や、県が平成20年度に被害想定を全壊建物数2万1930棟、避難者数10万6000人と発表した南関東地震への対策は、②富士山が噴火した場合、約10〜30センチメートルの降灰が予測されるが、③壊滅的な被害が報告された岩手県釜石市は防災訓練により子どもの犠牲

天然素材の「納豆菌」で

水質浄化と畜産臭気対策を

市政会 川口 薫

一 夏季の節電対策について

問 国は、昨年の夏季に比べ、15%以上の電力削減を求めている。市民の多くが利用する体育館や文化会館など、多くの電気を必要とする公共施設について、利用者に対するサービスを下させない方策を考えているのか。

答 原則として公共施設は休館せず、照明の引ききり、健康に配慮しつつ空調設定温度を原則28度とし、電力量を確認しながら、節電を確実に実行していきたい。一部の施設において日時を限り使用制限を行うが、市民サービスは低下させないことを基本に計画を策定している。

要望 絵本を配付するのではなく、自らが選んで購入することが効果的である。また、行政独自で絵本の作成にも努力してほしい。

的就労所などへの補助のほか、障害者自立支援協議会の下部組織である就労委員会での就労支援や障害者事業推進センターを中心とした支援に努めている。

問 本市は、障害のある人もない人も、高齢者や妊産婦、幼児などすべての人が地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組んでいるが、障がい者や高齢者の住宅改修にどのような支援を行っているのか。

答 重度心身障がい者には、浴室やトイレ、移動リフトなどの改修に助成がある。高齢者には、介護保険制度の中で対応しているが、共同住宅改修は、今後研究したい。

問 東北の惨劇に多くの人が心が痛めている。だからこそ、新源泉を活用すべきと思うがどうか。

答 新源泉を活用して、源泉かけ流し設備を増設し、足湯、足湯アスレチック、手湯、温泉スタンドなどの設置を考えている。

質浄化や畜産業における臭気対策が話題になっている。本市においても震生湖、親水施設の水質改善や畜産施設の臭気対策の一助となると考えているがどうか。

答 バチルス菌は、納豆菌の一種である微生物群であり、自然の力を活用して、ヘドロや臭いなどの浄化や動物の腸内細菌の改善などの効果を発揮するものである。具体的には、今後、施設管理者の臭気対策に活用できるかどうかについては、今後、施設管理者や畜産事業者などと調整を図りながら、効果だけでなく、費用面なども含めて、さまざまな角度から研究していきたい。